

考えるチカラは知ることから

1学級1新聞 読んでみました

情報が記憶に残る

▽3年須貝陽世さん(17)

「新聞は何度も読み返すこ



とができ、他のメディアよりも情報が記憶に残りやすい。就職活動を見据えて、今春から記事のスクラップを始めた。分からない単語を調べ、問題の解決策を考えてノートにまとめていく。今まで自分の意見を述べるのが怖かったが、スクラップを始めてからは積極的に主張できるようになった。今後も新聞を活用し、思考を深めたい」

公立高普通科版

南陽高

読み比べを勧める

▽斎藤穂乃香教諭(25)

「国語と進路指導を担当し



ており、新聞はよく活用する。国語の授業では、関心のある記事のスクラップや、各紙の読み比べを勧めている。例えば読み比べでは、生徒に記事の書き方の違いや記者の意図を考えさせる。批判的な思考力や多角的な物の見方が身に付いてきた。進路指導の上でも、希望する職業や企業の記事を取り入れている」

【協賛企業】山形銀行、荘内銀行、きらやか銀行、山形県民共済生活協同組合、日東ベスト、日新製菓、アイジー工業、かわでん、角田商事、山形トヨペット、ネットトヨタ山形、山形日産グループ、沼田建設、升川建設、山和建設、JA全農山形、ヤマザワ、山形パナソニック、須藤不動産、ウインハウス、幸栄建設、加藤総業、ウエノ、

「山形新聞 2020 年 6 月 8 日」「写真提供/山形新聞社」